

○再整備・再配置の方向性

西武地区

(1) 地域対応施設

施設名	再整備・再配置の方向性	整備パターン	メリット・デメリット
地区センター	既存施設（公民館）の活用を前提とする。	1 西武公民館を活用する案	<p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存施設を活用することができる。 <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複合施設として整備することを考慮した場合、敷地の拡張が難しい。
小学校	市街化が進んでいる地域であり、新たな学校用地を見つけられる可能性が低いため、既存施設を活用することを前提とする。	1 西武小学校を活用する案	<p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区の中心部に位置するため、多くの児童が通学しやすい。 <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区センター化を予定している西武公民館と隣接するため、地域の拠点施設が一か所に集中する。
		2 仏子小学校を活用する案	<p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災拠点として配置する上で、配置バランスが良い。 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区の南端に存在するため、通学距離が大幅に延びる児童がでてくる。
	統合しない場合の想定		<p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 通学区等の見直しがなければ、通学距離（時間）が長くなることはない。 <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2校を存続させた場合、1校分よりも多くの維持管理及び運営費が見込まれるため、建替えや大規模改修（リニューアル）のための費用を確保することが難しくなる。 児童数が減少し、学校の規模が大幅に縮小する可能性がある。
	複合化しない場合の想定		<p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原則、敷地内へ児童しか入れないため、現行の教育環境が確保される。 <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後求められる学校と地域住民の連携強化や世代間交流の機会を増やすといった、複合化によるメリットを活かすことができない。
学童保育室	小学校の改修に合わせて校舎への複合化を図るとともに、小学校に合わせて統合する。	1 西武と仏子学童保育室を統合して小学校に複合化する案	<p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 統合することにより、施設面積が縮減できる。 <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 待機児童が生じないようにするためには、施設規模の拡大が必要になる可能性がある。

施設名	再整備・再配置の方向性	整備パターン	メリット・デメリット
中学校	市街化が進んでいる地域であり、新たな学校用地を見つけられる可能性が低いいため、既存施設を活用することを前提とする。	1 西武中学校を活用する案	【メリット】 ・人口密度の高いエリアに存在するとともに、仏子地区に存在するため、地区センターとの配置バランスが良い。 【デメリット】 ・地区の南端に位置するため通学距離が大幅に延びる生徒がでてくる。
		2 野田中学校を活用する案	【メリット】 ・野田中学校を中心とする範囲に地区の住宅を多く収めるので、より多くの方の利便性が高まる。 【デメリット】 ・地区の西端に位置するため通学距離が大幅に延びる生徒がでてくる。
	統合しない場合の想定	【メリット】 ・通学区等の見直しがなければ、通学距離（時間）が長くなることはない。 【デメリット】 ・学級数が少なくなると、配置される教員数が減少するため、各教科に専任の教員を配置できない可能性がある。 ・生徒数が少ないため、部活動の種類（選択肢）が減る可能性がある。	
保育所	既存施設の活用を前提とする。	1 西武中央保育所を活用する案	【メリット】 ・新たな用地取得が不要である。 【デメリット】 ・工事期間中、施設の休止や代替施設が必要となる。
地区体育館	既存施設の活用を前提とする。	1 西武地区体育館を活用する案	【メリット】 ・既存施設をそのまま活用することができる。 【デメリット】 ・特に問題はない。
老人憩いの家	施設更新は行わず、地域の自治会等への譲渡を検討し、施設機能は、他の地域対応施設に移転する。ただし、高齢者の利便性が著しく低下する場合は、一部施設の継続も検討する。	1	【メリット】 ・譲渡することにより施設面積が縮減できる。 【デメリット】 ・高齢者の利便性が低下する可能性がある。

(2) 広域対応施設

施設名	再整備・再配置の方向性
文化創造アトリエ	当面、修繕により維持する。ただし、施設の形態を変えるような改修工事は実施しない。